コースコード：RH-AD248
税込価格：275,000円 (税抜価格：250,000円)
日数：5日間

前提条件

・Microsoft Windows、UNIX、または Linux®
オペレーティング・システムにおけるシステム管理の基本的な経験
・ハードウェアおよびネットワークの理解 ・Java™、スクリプト、またはJboss Developer Studioの事前知識は不要です

受講対象者

Red Hat JBoss を初めて使用するシステム管理者、または Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 6 を使用した経験のあるシステム管理者

コース概要

Red Hat® JBoss® Enterprise Application Platform (JBoss EAP) 7
のインストールと設定に関するベストプラクティスを紹介します。JBoss EAP 上でアプリケーションを効果的にデプロイおよび管理するうえでシステム管理者が知っておくべき重要な実際の作業を、実践的な演習を通して学習します。

目的

スタンドアロンモードおよび管理対象ドメインの JBoss EAP 7 を、EAP CLI と Web コンソールの両方で管理できるようになります。

以下のスキルを習得できます。

・スタンドアロンモードまたは管理対象ドメインとしての JBoss EAP 7 のインストール
・新しいバッチサブシステムの設定
・HornetQ メッセージング・サブシステムの管理
・JBoss EAP 上にデプロイされたアプリケーションの保護
・サーバーのログのカスタマイズ
・データベースへのデータソース接続の作成および管理
・JBoss EAP クラスタリングの管理

アウトライン

JBoss Enterprise Application Platform (JBoss EAP) の概要
JBoss EAP 7 の概念と用語について学ぶ
JBoss EAP インスタンスをインストールして実行する
拡張機能、プロファイル、およびサブシステムについて理解する

スタンドアロンモードで JBoss EAP を設定する
スタンドアロンモードで JBoss EAP を実行および設定する
インタフェースとソケット・バインディング・グループを設定する

アプリケーションを設定およびデプロイするスクリプト
コマンドライン・インタフェースで JBoss EAP を設定する

スタンドアロンモードでアプリケーションをデプロイする

管理対象ドメインとしての JBoss Enterprise Application Platform の設定
JBoss EAP を管理対象ドメインとして実行する
ドメインコントローラーを割り当てる
ホストコントローラーとドメインコントローラーの設定

管理対象ドメインでのサーバーの設定
ドメインサーバーのアーキテクチャの管理
サーバーとサーバーグループの設定

データソースの設定
データソース・サブシステムを調べ、JDBC ドライバー、データソース、および XA
データソースを設定する

ログサブシステムの設定
ロガーとロギングハンドラーを設定する

メッセージング・サブシステムの設定
メッセージング・サブシステムの詳細を確認する
メッセージング・リソース、ジャーナル、およびその他の設定値を設定する

JBoss EAP のセキュリティ保護
データベース・セキュリティレルム、LDAP セキュリティレルム、およびパスワードボールトを設定する
JMS 宛先を保護する

Java 仮想マシン (JVM) の設定
スタンドアロンモードおよび管理対象ドメインで JVM を設定する

Web サブシステムの設定
Web サブシステムの機能を確認し、設定する

クラスタ化されたアプリケーションのデプロイ
クラスタ化されたアプリケーションについて詳しく確認する
クラスタ化されたアプリケーションをサポートするサブシステムを設定し、負荷分散を設定する
HA シングルトン・アプリケーションをデプロイする

バッチサブシステムの設定
バッチジョブとバッチサブシステムを詳しく確認し、設定する

JBoss EAP 7 の新機能の学習
JBoss EAP 7 の新機能を学ぶ
JBoss EAP 6 から JBoss EAP 7 に移行する

Red Hat JBoss Application Administration I の総括的な復習
Red Hat JBoss Application Administration I のタスクを確認する

注：学習内容は、テクノロジーの進歩や対象業務の性質の変化に伴って変更されることがあります。